

ユビキタスネットワーク時代における 電子タグの高度利活用に関する調査研究会(第2回)議事要旨

1 日時

平成15年5月27日(火)16:00~18:00

2 場所

総務省 第1特別会議室

3 出席者

(1) 調査研究会構成員(50音順、敬称略)

相上 義明(代理)、青木 昭明(代理)、縣 厚伸、秋山 正樹、有薊 徹、石渡 恒夫、伊土 誠一、岩沙 克次(代理)、内永 ゆか子(代理)、瓜生 直樹、大西 弘致、大山 永昭、金子 郁容、川辺 守彦、國井 秀子、児玉 駿(代理)、齊藤 忠夫、坂村 健、篠本 学、高岡 博史、築山 宗之、徳田 英幸、西村 清司(代理)、堀田 徹哉、松尾 義武、村上 輝康、村上 仁己、安田 靖彦、大和 敏彦、若尾 正義、和田 英一

(2) 総務省(事務局)

石原大臣官房技術総括審議官、藤岡大臣官房審議官、鬼頭電波部長、稲田技術政策課長、武井情報流通振興課長、金谷通信規格課長、富永移動通信課長、渡辺研究推進室長、岡野マルチメディア移動通信推進室長

5 議事

(1) 開会

(2) 前回議事録の確認

(3) 議事

電子タグに関する技術動向、利用動向について

・事務局より、資料2 - 2、資料2 - 3に基づき、それぞれ無線システムワーキンググループ、ネットワーク利用ワーキンググループにおける検討状況の報告が行われた。

・資料2 - 4、資料2 - 5及び資料2 - 6に基づき、電子タグの現状と動向について、坂村委員、金子委員、堀田委員から説明が行われた。

主な意見は、次のとおり。

・近い未来をお考えのビジョンと、文化になっていくような、長期的なビジョンといろいろあるが、どのようなタイムドメインのもとに、今後の研究を進めていくかは難しい問題だと思う。

・誰が、いつどこで、どういう権限で、IDを発行するかという問題は、いままさに一番大きな課題。そこは民間に任せるより、やはり公的な機関が関与してもよいのではないかと私は思う。

- ・電子タグの普及に何年かかるかという話は、私はどうやっても10年はかかると思う。それくらいかけなければ、セキュリティポリシーや、セキュリティの問題に関してコンセンサスが得られないし、リーズナブルな価格にもならない。電子タグを様々な用途に用いると、プライバシーや、セキュリティが問題となるので、十分な時間をかけてセキュリティポリシー等をディスカッションする必要がある。
- ・タグのセキュリティの問題と、リーダーライターのセキュリティの問題が、往々にして混同されてしまう。リーダーライターのセキュリティの問題は、別途ユビキタス端末のセキュリティの問題として考えなければならないが、この場で議論しなければならないのは、タグそのもののセキュリティの問題だろう。
- ・様々な物にタグが付き、至る所にリーダが設置されると、特定の持ち物の番号から特定の人物が同定できてしまい、問題だと言われている。それらに対応するセキュリティポリシーを丹念に作っておく必要がある。それをわかった上で、さらにコストを掛ける等の対応をしなければならない。言い方を少し間違えただけで、大きな産業になるマーケットになるものをだめにしてしまう。
- ・電子タグが至るところに存在するユビキタス時代を考えると、トラブルがおこるとその影響が大きい。例えば電子タグは物理的な攻撃に対して、どのくらい脆弱なのか。そのあたりも考慮に入れて今後の展開を進めていく必要があるのではないか。
- ・リーダーライターが盗まれてセキュリティが破られたという話は良くある。そういう状況にさらされることを、考慮して作られたかによるだろう。または、それに対する対策をネットワークでとれるかもしれない。いろいろな環境に応じて、対策を考えていく必要があると思う。
- ・あるIDセンターに、DDos 攻撃などのネットワーク攻撃がされると、負荷が集中しどこかが悲鳴を上げる。社会の仕組みがネットワークに依存すればするほど、DDos アタックなどは、脅威となるので、そういう観点は重要となる。
- ・電子タグのIDセンターの話は住基ネットの番号を付番しているところと似ている。住基の番号自体はなんの意味も持たず、属性情報が付くから意味があるのであり、タグの問題も同じだろう。電子タグが安全に動くために、責任論を明確にし国はどこに関与すべきかという議論をしないといけない。

その他

事務局より、次回会合は別途調整の上、お知らせする旨の説明がなされた。

(4) 閉会

5 配布資料

- 資料2 - 1 ユビキタスネットワーク時代における電子タグの高度利活用に関する調査研究会第1回会合 議事録(案)
- 資料2 - 2 無線システムWG活動状況報告(無線システムWG)
- 資料2 - 3 ネットワーク利用WGの検討状況について(ネットワーク利用WG)
- 資料2 - 4 ユビキタスIDセンター(坂村委員)

資料 2 - 5 電子タグの将来イメージ
～ 知の「スーパー文脈」作りと教育への応用 ～ (金子委員)

資料 2 - 6 ICタグのアプリケーションに関する動向(堀田委員)

参考資料 1 ユビキタスネットワーク時代における電子タグの高度利活用に関する調査研究会第1回 議事要旨

参考資料 2 ユビキタスネットワーク時代における電子タグの高度利活用に関する調査研究会 開催要綱

(以上)